

大分県内遺跡発掘調査概報22

2019

大分県立埋蔵文化財センター

例　言

- 1 本書は大分県教育委員会が平成30年度国庫補助事業として実施した大分県内遺跡発掘調査事業の概要報告書である。
- 2 調査にあたり、県農林水産部、県土木建築部、県東部振興局、県中部振興局、県南部振興局、県豊肥振興局、県西部振興局、県北部振興局、県警察本部、県内各市町村教育委員会の協力を得た。
- 3 現地での実測図の作成及び写真撮影は各調査員が担当した。
- 4 写真・実測図等の調査記録は大分県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。
- 5 本書の執筆は友岡信彦・横澤　慈・土谷崇夫・綿貫俊一が行い、分担箇所は目次に明記した。編集は横澤が行った。

目　次

はじめに	1
I 県農林水産部事業に伴う分布調査（土谷）	2
II 県土木建築部事業に伴う分布調査（横澤）	2
III 県事業に伴う試掘・確認調査、立会調査（横澤）	2
IV 国・その他の事業に伴う試掘・確認調査、立会調査（綿貫）	2
V 県内遺跡発掘調査	13
(1) 県事業に伴う試掘確認・立会調査概要（友岡・横澤・土谷）	13
(2) 国その他事業に伴う試掘確認・立会調査概要（綿貫）	21
(3) 平成29年度県内遺跡発掘調査概要（横澤）	24
VI 近世重要遺跡詳細分布調査（土谷）	27
報告書抄録	

はじめに

大分県埋蔵文化財センターでは、平成30年度国庫補助事業として、県農林水産部が実施する平成31年度農業基盤整備等の事業に伴う事前の埋蔵文化財分布調査(Ⅰ)、県土木建築部が実施する平成31年度事業に伴う埋蔵文化財分布調査(Ⅱ)、県土木建築部等の事業に伴う試掘・確認調査及び立会調査(Ⅲ)、国・公社その他の機関の実施事業に伴う試掘・確認調査及び立会調査(Ⅳ)を実施した。加えて、県内に所在する遺跡の詳細分布調査として、近世重要遺跡詳細分布調査を実施した。

平成31年度農業基盤整備事業に伴う分布調査は総計216件で、その概要是第2～6表のとおりである。県土木建築部関係の分布調査は541箇所で実施し、その概要是第7～9表のとおりである(調査不要と判断されるII-C判定及び詳細計画未策定のII-D判定を除く)。IIIの県事業に伴う試掘・確認調査及び立会調査は58箇所で実施し、その概要是第10～11表のとおりである。IVの国・公社その他機関の事業に伴う試掘・確認調査及び立会調査は7箇所で、その概要是第12表のとおりである。

平成30年度の調査組織の構成は下記のとおりである。

調査主体	大分県教育委員会		
調査機関	大分県立埋蔵文化財センター		
調査責任者	江田 豊(大分県立埋蔵文化財センター所長)		
調査事務	森次 正浩(同	副所長兼総務課長)
	石丸 一輝(同	総務課副主幹) ※9月30日まで
	岡本 佳子(同	総務課主査) ※10月1日から、教育改革・企画課併任
調査担当	友岡 信彦(同	参事兼調査第一課長)
	横澤 慶(同	調査第一課主査)
	土谷 崇夫(同	調査第一課主事)
	宮内 克己(同	調査第一課嘱託)
	吉田 寛(同	調査第二課長)
	綿貫 俊一(同	調査第二課課長補佐)
	服部 真和(同	調査第二課主事)
	井 大樹(同	調査第二課主事)
	坂本 嘉弘(同	調査第二課嘱託)
	小野千恵美(同	調査第二課嘱託)
	古殿 鈴代(同	調査第二課嘱託)
	松本 康弘(同	企画普及課長)
	小林 昭彦(同	企画普及課専門員)
	後藤 一重(同	企画普及課嘱託)

I 県農林水産部の事業に伴う分布調査

大分県教育委員会では県内における農林水産部局関係の事業について事前に照会し、埋蔵文化財の取扱いを決めるための分布調査を実施している。平成30年度は、10月・11月・2月に市町村教育委員会の協力を得て、県下103箇所で行った(第2～6表)。

そのうち、遺跡が確認できた地区に関しては、各事業者と関係市町村教育委員会が協議し、必要な調査を実施する予定である。

II 県土木建設部の事業に伴う分布調査

土木建築部の各土木事務所所管の県道建設等については、541箇所で分布調査を実施した。その内、立会・試掘・確認調査の対象となるもの及びI-Dと判定したものは第7～9表の74箇所であった。

III 県事業に伴う試掘・確認、立会調査

県事業に伴う試掘・確認本調査は第10・11表のとおりである。その内訳は、国東土木事務所分3箇所、別府土木事務所3箇所、大分土木事務所分12箇所、臼杵土木事務所分10箇所、豊後大野土木事務所分1箇所、竹田土木事務所分1箇所、日田土木事務所分9箇所、中津土木事務所分9箇所、宇佐土木事務所分4箇所、警察本部分3箇所の合計58箇所で立会・試掘・確認調査を実施した。

IV 国・その他の事業に伴う立会・試掘・確認調査

国・その他事業については第12表のとおりである。その内訳は、国土交通省分のほか合計7箇所の試掘・確認、立会調査である。なお、分布調査の判定は平成21年度より、下記のように、周知遺跡の有無でIとIIに分類し、各々A～Dの判定をしている。

第1表 埋蔵文化財分布調査の判定結果

周知の有無		判定	
周知遺跡	I	A	確認調査が必要な地区。
		B	遺物の散布状況や地形等からみて遺跡の存在が希薄、または工事による埋蔵文化財への影響が少ないと想定され、立会調査での対応が可能な地区。
		C	工事による埋蔵文化財への影響がなく、事業実施にあたり、特に問題のない地区。
		D	事業予定地範囲が未確定であったり、予定地内への立入が困難など、再度分布調査が必要な地区。
		II	遺物の散布が確認され、地形的に遺跡の存在する可能性があるため、試掘調査が必要な地区。
周知遺跡外	II	A	わずかではあるが、遺跡の存在する可能性があるため、立会調査が必要な地区。
		B	事業実施にあたり、特に問題のない地区。
		C	事業予定地範囲が未確定又は予定地内への立入が困難など、再度分布調査が必要な地区。
		D	事業予定地範囲が未確定又は予定地内への立入が困難など、再度分布調査が必要な地区。

第6表 平成31年度 農林水産局実施予定事業に伴う埋蔵文化財調査判定一覧(5)

(森林保全課)

番号	施設名・課名	事業名	地区名	市町村名	工事場所	実施面積(ha) 実施延長(m)	判定
171	中部振興局 農林水産部	予防治山事業	忠野	臼杵市	大字忠野 字忠野	横開工 1基	II-C
172	九州振興局 農林水産部	予防治山事業	深良津	津久見市	大字四浦 字深良津	横開工 1基	II-C
186	中部振興局 農林水産部	予防治山事業	時山	山布市	大字时山 字时山	横開工 1基 山腹工 0.1ha	II-C
187	中部振興局 農林水産部	予防治山事業	立小野	大分市	大字立小野 字立小野	山腹工 0.2ha	II-C
188	中部振興局 農林水産部	予防治山事業	北海添	臼杵市	大字北海添 字北海添	山腹工 0.2ha	II-C
189	中部振興局 農林水産部	予防治山事業	戸畠	臼杵市	大字戸畠 字戸畠	横開工 1基 山腹工 0.1ha	II-C
190	山口県振興局 農林水産部	予防治山事業	小瀬	津久見市	大字日見 字小瀬	横開工 2基	II-C

(漁港整備課)

番号	施設名・課名	事業名	地区名	市町村名	工事場所	実施面積(ha) 実施延長(m)	判定
185	漁港造込整備課	水底浚渫整備事業(特定)	佐賀間	大分市	佐賀間漁港	防波堤(延伸) L=140m	II-C
186	魚港造込整備課	水底浚渫整備事業(一般)	長洲	宇佐市	長洲漁港	導流堤 L=170m 航路改修	II-C
187	魚港造込整備課	水底浚渫整備事業(特定)	中津	中津市	小祝漁港	2.0m 的踏道 1.5m 沿地浚渫 道路 L=60m	II-C
188	魚港造込整備課	水底物供給整備施設保全事業	中津	中津市	小祝漁港	道路補修	II-C
189	魚港造込整備課	水底物供給整備施設保全事業	長洲	宇佐市	長洲漁港	物揚場補修	II-C
190	魚港造込整備課	水底物供給整備施設保全事業	龜川	別府市	龜川漁港	道路補修	II-C
191	魚港造込整備課	水底物供給整備施設保全事業	佐賀間	大分市	佐賀間漁港	岸壁補修	II-C
192	魚港造込整備課	水底物供給整備施設保全事業	瀬江	佐伯市	瀬江漁港	岸壁、物揚場補修	II-C
193	魚港造込整備課	木座船供給整備施設保全事業	保戸島	津久見市	保戸島漁港	岸壁補修	II-C
194	魚港造込整備課	漁港施設機能強化事業	松浦	佐伯市	松浦漁港	防波堤(改良)	II-C
195	魚港造込整備課	地方創生整備推進交付金事業	今津	中津市	今津漁港	航路浚渫	II-C
196	魚港造込整備課	地方創生整備推進交付金事業	東深江	臼杵市	東深江漁港	防波堤	II-C
197	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	竹田津	国東市	竹田津漁港	用地鋪装	II-C
198	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	瀬江	佐伯市	瀬江漁港	用地鋪装	II-C
199	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	小祝	中津市	小祝漁港	防風林設置	II-C
200	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	長洲	宇佐市	長洲漁港	被網帶防草処理	II-C
201	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	竹田津	国東市	竹田津漁港	可動橋改良 駐車場鋪装 船落防止壁設置	II-C
202	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	龜川	別府市	龜川漁港	野柳場エプロン植生	II-C
203	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	大分	大分市	大分漁港	野柳場用地舗装	II-C
204	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	佐賀間	大分市	佐賀間漁港	物揚場事業の改良 防風樹設置	II-C
205	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	保戸島	津久見市	保戸島漁港	防風樹設置	II-C
206	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	松浦	佐伯市	松浦漁港	側溝更新 物揚場草止め新設 配管橋帶敷設 用地鋪装	II-C
207	魚港造込整備課	漁港機能増強事業	瀬江	佐伯市	瀬江漁港	側溝更新 物揚場草止め新設 配管橋帶敷設 用地鋪装	II-C
208	魚港造込整備課	農山漁村地域整備交付金 (漁村再生交付金事業)	香ヶ地	豊後高田市	香ヶ地漁港	防波堤改良 野柳場用地舗装	II-C
209	魚港造込整備課	農山漁村地域整備交付金 (海岸保全施設整備事業)	竹田津	国東市	竹田津漁港海岸	海岸老朽化工事	II-C
210	魚港造込整備課	農山漁村地域整備交付金 (海岸保全施設整備事業)	香ヶ地	豊後高田市	香ヶ地漁港海岸	海岸老朽化工事	II-C
211	魚港造込整備課	農山漁村地域整備交付金 (海岸保全施設整備事業)	松浦	佐伯市	松浦漁港海岸	海岸老朽化工事	II-C

第7表 平成31年度 土木建築部実施予定事業に伴う埋蔵文化財調査判定一覧(1)

番号	様・土木事務所名	事業名	路線名・ 河川名等	事業場所		遺跡名	判定
				市町村名	大字		
1	施設整備課	豊後大野総合庁舎解体工事	豊後大野総合庁舎	豊後大野市	三重町市場	市場遺跡	I - B
2	施設整備課	肉用牛肥育施設整備事業	農業大学校	豊後大野市	三重町赤瀬	茶畠久保遺跡群	I - B
3	施設整備課	国東橋南施設建替事業	国東橋南施設	国東市	国東町	飯深遺跡	I - B
4	施設整備課	県有建築物防災対策事業	中部保健所	臼杵市	阿崎	御模原台場跡	I - B
5	春後高田土木事務所	地域振興	地蔵岬小田原崎	春後高田市	長岩崎(小)	岩鼻岩陰遺跡	I - C II - C
6	春後高田土木事務所	交付金(改良)	春後高田安岐嶺	春後高田市	小田原	寺田遺跡	I - C II - C
7	春後高田土木事務所	交付金(改良)	新城山香織	春後高田市	田染池部(2)	五反田遺跡	I - C
8	春後高田土木事務所	一般改良(道路)	春後高田安岐嶺	春後高田市	田染上野	上野条里	I - D
9	春後高田土木事務所	交付金(改良)	春後高田国東線	春後高田市	一畑2		II - B II - C
10	春後高田土木事務所	急傾斜	権毛地区	春後高田市	玉津	高田城跡	I - C
11	国東土木事務所	交付金 交通安全	国道213号	国東市	国見町伊美	中須賀遺跡	I - B
12	国東土木事務所	交付金 交通安全	国東安岐嶺	国東市	国東町治郎丸		II - B
13	国東土木事務所	海岸環境整備	国東港武藏地区海岸	国東市	武藏町内田	内田遺跡	I - C
14	別府土木事務所	道路改良	別府山香織	日出町	南畑	日出遺跡	I - B
15	別府土木事務所	道路改良	別府山香織	別府市	野田	北野田遺跡	I - B
16	別府土木事務所	道路改良	佐田山香織	杵築市	山香町立石		II - A II - B II - C
17	別府土木事務所	道路改良	山香町内線	杵築市	山香町野原(国道)		II - A II - B II - C
18	別府土木事務所	道路改良	別府山香織	別府市	内道(内鹿2丁目)		II - B II - C
19	別府土木事務所	道路改良	八坂萬能井線	杵築市	日野2		II - B
20	別府土木事務所	河川改修	高山川	杵築市	大内		II - B II - C
21	大分土木事務所	道路改良	庄内久住線	由布市	庄内町大龍		II - B II - C
22	大分土木事務所	道路改良	国道442号	大分市	上宗方～市	玉沢地区条里跡	I - A II - A
23	大分土木事務所	交通安全	国道197号	大分市	方町～舞鶴町	府内城・城下町	I - B II - C
24	大分土木事務所	電線共同溝	国道210号	大分市	新町～大道		II - B II - C
25	大分土木事務所	道路改良	国道197号	大分市	庄鹿～乙津町	鶴崎町遺跡群	I - A II - A II - C
26	大分土木事務所	道路改良	鶴崎大南線	大分市	毛井	清水遺跡	I - C
27	大分土木事務所	道路改良	庄の原佐野線	大分市	下郡	下郡遺跡群	I - A II - A
28	大分土木事務所	河川改良	本川	大分市	細	相地区条里跡	I - B
29	大分土木事務所	通常警防	一尺瀧川	大分市	一尺瀧		II - A II - C
30	大分土木事務所	急傾斜	上小原堆(2)	由布市	庄内原	小原遺跡	I - B
31	大分土木事務所	急傾斜	国分新町地区	大分市	国分新町	六重原遺跡	I - C
32	大分土木事務所	急傾斜	生石地区	大分市	生石		II - B
33	大分土木事務所	交付金 重要港湾改修	大分港板ノ市地区	大分市	細～馬場		II - A II - B

第8表 平成31年度 土木建築部実施予定事業に伴う埋蔵文化財調査判定一覧(2)

番号	課・土木事務所名	事業名	路線名・河川名等	事業場所		遺跡名	判定
				市町村名	大字		
34	臼杵土木事務所	道路改良	祇園洲原原線	臼杵市	臼杵	臼杵城下町跡	I - B
35	臼杵七本木事務所	道路改良	国道217号	津久見市	セメント町～上青江	志手町遺跡	I - C
36	臼杵土木事務所	道路改良	吉野原大鉄鍊	臼杵市	千家	木瀬遺跡	I - A I - C
37	臼杵土木事務所	急傾斜	寒野地区	臼杵市	家野	京野遺跡	I - C
38	臼杵土木事務所	交通安全	国道502号	臼杵市	福浦	怪怪道跡	I - A II - A
39	臼杵土木事務所	急傾斜	双葉南	臼杵市	戸室	戸室台遺跡	I - C
40	臼杵土木事務所	河川改修	津久見川	津久見市	津久見庵	大友氏別館跡	I - B II - C
41	臼杵土木事務所	道路改良	臼杵停車場跡	臼杵市	臼杵	臼杵城跡	I - B
42	佐伯土木事務所	道路改良	佐伯蒲江線	佐伯市	堅田		II - B
43	佐伯土木事務所	砂防ダム	山王谷川	佐伯市	長谷	下城遺跡	I - B II - B
44	佐伯土木事務所	急傾斜	中山地区	佐伯市	長谷	八幡山城跡	I - D II - C
45	佐伯土木事務所	河川改修	健内川	佐伯市	弘生挺内		II - B
46	豊後大野土木事務所	一般改良 道路改良	三重野津原線	豊後大野市	大野町藤北	藤北遺跡群	I - D
47	豊後大野土木事務所	交付金 道路改良	三重新殿線	豊後大野市	千歳町前田～三重町 音枝	上田原遺跡群・上田 原木遺跡	I - A II - A
48	豊後大野土木事務所	交付金 道路改良	三重新殿線	豊後大野市	三重町内田		II - A
49	豊後大野土木事務所	交付金 道路改良	維方朝地線	豊後大野市	朝地町上尾冢	高城跡	I - C
50	豊後大野土木事務所	交付金 道路改良	宇目清川線	豊後大野市	三重町伏野	中康無礼遺跡	I - C
51	豊後大野土木事務所	一般改良 道路改良	百枝大野線	豊後大野市	三重町西泉	百枝(小学校)遺跡・ 陣屋跡	I - A
52	豊後大野土木事務所	一般改良 道路改良	国道502号	豊後大野市	清川町臼尾	市史跡櫛萱堂石仏群	I - B II - C
53	豊後大野土木事務所	交付金 交通安全	国道326号	豊後大野市	三重町小坂	三重原遺跡群	I - A
54	豊後大野土木事務所	河川改修	奥翁川	豊後大野市	清川町三玉	中村遺跡群	I - C
55	豊後大野土木事務所	地すべり	山内地地区	豊後大野市	大野町山内	志田原遺跡	I - C
56	豊後大野土木事務所	通常砂防	小福手谷川	豊後大野市	大野町田原	鳥穴遺跡	I - C II - C
57	竹田土木事務所	交付金 道路改良	庄内久住線	竹田市	久住町久住	久住遺跡	I - C II - A
58	竹田土木事務所	交付金 道路改良	白丹竹田線	竹田市	飛田川		II - B II - C
59	竹田土木事務所	交付金 道路改良	白丹竹田線	竹田市	下志土加	下井手遺跡	I - C II - C
60	竹田土木事務所	-般改良	竹田ヶ類線	竹田市	九重野		II - A
61	筑摩土木事務所	道路改良	曲曲新田線	九重町	板木 筑木		II - A II - B
62	筑摩土木事務所	急傾斜	井の尻2地区	筑摩町	四日市		II - A
63	日田土木事務所	-般改良	宝珠山日田線	日田市	扇町		II - A II - B II - C
64	日田土木事務所	交付金	越潤大宮線	日田市	高瀬	鏡泊遺跡 条里跡(高瀬条里)	I - A I - B
65	日田土木事務所	交付金	国道212号	日田市	大山村西大山	鎌手遺跡	I - C II - C
66	日田土木事務所	-般改良	領田日田線	日田市	小山	長者原遺跡	I - A I - C

第9表 平成31年度 土木建築部実施予定事業に伴う埋蔵文化財調査判定一覧(3)

番号	課・土木事務所名	事業名	路線名・河川名等	事業場所		遺跡名	判定
				市町村名	大字		
67	日田土木事務所	補助	国道212号 (日田拡幅)	日田市	三和	安全道路 日田条里遺跡	I - D II - D
68	日田土木事務所	補助	国道212号 (日田拡幅)	日田市	三和～鏡里	日田条里遺跡 和歌田遺跡	I - A I - C II - C
69	日田土木事務所	交通安全	西有田豆田線	日田市	西有田		II - A
70	日田土木事務所	道路改良事業	岩戸五郎田藤	日田市	天瀬町玉島市	原遺跡	I - D
71	日田土木事務所	災害復旧応急事業	鶴河内川	日田市	鶴河内	大肥下河内遺跡	I - C II - C
72	日田土木事務所	災害復旧等開通緊急事業	大肥川	日田市	大肥～夜明	古里敷遺跡 大肥吉行遺跡 高野遺跡 上村遺跡	I - A I - B I - C
73	日田土木事務所	河川改修	二串川	日田市	友田		II - B II - C II - D
74	日田土木事務所	河川改良	有田川	日田市	東有田	佐藤半造跡 有田遺跡 八田遺跡 山口遺跡	I - C II - C
75	日田土木事務所	河川改良	田代川	日田市	二串	熊本遺跡	I - B
76	日田土木事務所	河川改良	渡鬼川	日田市	三和	三和教田遺跡	I - D
77	日田土木事務所	火山砂防	中大山川②	日田市	大山町西大山	中川原遺跡	I - B I - C
78	日田土木事務所	急傾斜地崩壊対策	法恩寺地区	日田市	日高	法恩寺1～7号塙	I - B
79	日田土木事務所	急傾斜地崩壊対策	八丈地区	日田市	東有田	森ノ元遺跡	I - C
80	日田土木事務所	急傾斜地崩壊対策	清岸寺地区	日田市	鏡里	日田条里遺跡	I - C
81	中津土木事務所	道路改良	国道212号 (稚島浜道路)	中津市	耶馬溪町人島	大島横穴墓群	I - C
82	中津土木事務所	道路改良	鍋島猿野瀬(植野2)	中津市	植野	植野御藍遺跡	I - B
83	中津土木事務所	道路改良	渋見尻川中津線(原口2)	中津市	原口	原口遺跡	I - A
84	中津土木事務所	道路改良	中津高田瀬(角木)	中津市	角木		II - B
85	中津土木事務所	交通安全	国道212号(臼木2)	中津市	三光臼木		II - B
86	中津土木事務所	道路改良	臼木仲代瀬(一ツ松)	中津市	一ツ松	冲代地区条里跡	I - B
87	中津土木事務所	道路改良	渋見尻川中津線(田口)	中津市	三光田口	塘籠寺遺跡	I - A
88	中津土木事務所	道路改良	外馬御踏矢堂瀬(牛神)	中津市	牛神	石神城跡	I - A II - A
89	中津土木事務所	河川改修	山西川	中津市	那馬溪町 猪山路～宮園		II - B
90	中津土木事務所	河川改修	山間川	中津市	山国町中摩		II - B II - C
91	中津土木事務所	河川改修	犬丸川	中津市	福島	大丸川流域遺跡	I - C
92	中津土木事務所	重要港湾	中津港	中津市	田尻	舞手橋東段上遺跡	I - B II - C
93	宇佐土木事務所	交付金 道路改良	宇佐木耶馬渓線	宇佐市	江須賀	宇佐地区条里跡	I - D
94	宇佐土木事務所	交付金 道路改良	中津高田瀬	宇佐市	江須賀～金屋	宇佐地区条里跡 山の上遺跡	I - A I - A II - B II - C
95	宇佐土木事務所	砂防	下元糀川	宇佐市	上元糀	輻音山縄文墓群	I - B
96	宇佐土木事務所	河床削削	向野川	宇佐市	出光		II - B
97	宇佐土木事務所	河床削削	五十石川	宇佐市	下敷田	西和田貝塚 前遺跡	I - C
98	宇佐土木事務所	河床削削	山瀬川	宇佐市	安心院町山瀬	内川野遺跡	I - C
99	玉来ダム建設事務所	竹田水害緊急治水ダム建設	玉来川	竹田市	久保	久保遺跡群	I - A

第11表 平成30年度土木建築部実施事業に伴う埋蔵文化財本調査・試掘・確認・立会調査一覧(2)

番号	事業者	事業名	調査箇所	遺跡名	調査区分	調査期間	遺構	出土遺物	調査結果
38	宇佐木事務所	糸道山香院内線交通安全事業	宇佐市安心中町駒ヶ平	笠ヶ平遺跡	立会	平成30年11月6日			本調査なし
39	大分土木事務所	大分港坂ノ市地区統合補助事業	大分市総		試掘	平成30年11月7日	横穴(防空壕?)		本調査なし
40	臼杵木事務所	都市計画道路紙園御原 御原街路改良事業	臼杵市臼杵	臼杵城下町跡	立会	平成30年11月15日		陶磁器、瓦	本調査なし
41	臼杵木事務所	都市計画道路紙園御原 御原街路改良事業	臼杵市臼杵	臼杵城下町跡	立会	平成30年11月19日		京都系土師器 瓦	本調査なし
42	大分土木事務所	国道197号交通安全事業	大分市府内町3丁目	府内城・城下町	立会	平成30年11月22日		陶磁器、瓦	本調査なし
43	中津土木事務所	山国川庄橋河川改修工事	中津市耶馬溪町官園		立会	平成30年11月27日			本調査なし
44	大分土木事務所	国道197号交通安全事業	大分市荷揚町	府内城・城下町	立会	平成30年12月4日			本調査なし
45	臼杵木事務所	都市計画道路紙園御原 御原街路改良事業	臼杵市臼杵	臼杵城下町跡	立会	平成30年12月5日			本調査なし
46	大分土木事務所	国道197号交通安全事業	大分市府内町	府内城・城下町	立会	平成30年12月10日		上部器、陶磁器、瓦	本調査なし
47	大分土木事務所	国道197号交通安全事業	大分市荷揚町	府内城・城下町	立会	平成30年12月18日		陶磁器、瓦	本調査なし
48	中津土木事務所	国道212号道路改良事業	中津市耶馬溪町大島		立会	平成31年1月10日			本調査なし
49	筑紫土木事務所	筑紫垂井田排水路改善事業	筑紫町四日市		試掘	平成31年1月10日			本調査なし
50	大分土木事務所	国道197号交通安全事業	大分市大手町3丁目	府内城・城下町	立会	平成31年1月18日		陶磁器	本調査なし
51	大分土木事務所	国道197号交通安全事業	大分市荷揚町	府内城・城下町	立会	平成31年1月18日	石垣塗込	陶磁器、瓦	本調査なし
52	日田土木事務所	国道212号(日田松浦)道路 改良事業	日田市三和	三和駒ヶ原遺跡	確認	平成31年1月22日			本調査なし
53	別府土木事務所	別府市香院内線道路改良事業	別府市山香町野原		試掘	平成31年1月23日～ 平成31年1月24日	ビット	朱生土器、十輪器、 陶瓦器、海貝器	本調査
54	大分土木事務所	筑紫庄内久住篠路改良事業	由布市庄内町大畑		試掘	平成31年2月4日		粉土器、瓦質土器、 陶器、鐵器	本調査なし
55	中津土木事務所	中津市南高田篠路改良事業	中津市鍋島		試掘	平成31年2月20日			本調査なし
56	臼杵木事務所	国道502号交通安全事業	臼杵市城櫓		試掘	平成31年2月20日			本調査なし
57	竹田土木事務所	泉道庄内久住篠路改良事業	竹田市久住町久住	久住遺跡	確認	平成31年3月6日			本調査なし
58	日田土木事務所	国道212号(日田松浦)道路 改良事業	日田市三和	三和駒ヶ原遺跡	確認	平成31年3月20日		瓦器類、土器 器、陶器	本調査なし

第12表 平成30年度受託実施事業に伴う埋蔵文化財確認・試掘・立会・分布調査一覧

番号	事業者名	事業名	調査箇所	遺跡名	調査区分	調査期間	遺構	出土遺物	調査結果
1	防衛省	陸上自衛隊筑紫駐屯地業務隊	筑紫設営水管敷設工事	筑珠町帆足	名草台遺跡	立会	平成30年4月16日・ 平成30年5月1日		本調査なし
2	法務省	大分地方裁判所	豊後高田簡易裁判所附 新審判工事	豊後高田市工事	高田城跡	立会	平成30年8月23日		本調査なし
3	国土交通省	九州地方整備局 宮崎管区計画課	佐伯松原港整備工事	佐伯市中村西町		試掘	平成30年9月20日～ 平成30年9月21日		本調査なし
4	気象庁	大分地方気象台	櫛程軒整備工事	大分市長浜町3丁目	中世大分市内町	立会	平成30年9月28日		本調査なし
5	海上交通省	大分川河川道事務所	賀来川東流域施設整備工事	大分市東路地区	賀来条墓群	確認	平成30年10月9日		本調査なし
6	国立大学法人	九州大学病院附属 病院	九州大学病院附属病院 再開発	別府市鶴見字鶴見原		試掘	平成31年2月13日		本調査なし
7	国土交通省	大分川河川道事務所	国道212号二光木耶馬 溪路	中津市本耶馬溪町 新元		試掘	平成31年3月18日		本調査なし

V 県内遺跡発掘調査

(1) 県事業に伴う試掘確認・立会調査概要

1. 確認調査

遺跡名	久保遺跡群	所在地	竹田市大字久保
調査原因	竹田水害緊急治水ダム建設事業	調査期間	平成30年5月9日
調査担当	横澤 恵・土谷崇夫	時期	—
遺構	—	遺物	—

調査地は玉来川左岸の火山性台地上である。調査地の層序は、第1層：淡褐色ローム質土（層厚20cm）、第2層：黄褐色ソフトローム（20cm）、第3層：黄褐色ハードローム（25cm）、第4層：黒褐色の軟質岩盤（凝灰岩層の地山）である。調査地から遺構は確認されず、遺物も出土しなかった。調査地は隣地に対し4m程度低くなってしまっており、過去の造成により削平を受けたものと考えられる。以上の結果、工事実施に問題ないものと判断した。



遺跡名	中津無礼遺跡	所在地	豊後大野市三重町伏野
調査原因	主要地方道宇目清川線道路改良事業	調査期間	平成30年6月4日～6月5日
調査担当	横澤 恵	時期	—
遺構	—	遺物	チャート剥片、土師器、陶磁器

調査地は中津無礼川右岸の河岸段丘上で、河川寄りの低位段丘面にあたる。

調査地の層序は、第1層：褐色土（層厚20cm）、第2層：床土（10～20cm）、第3層：黄褐色ローム及び黒褐色土又は褐色礫混土（65～150cm）、第4層：黄褐色ローム質土（地山）である。第3層は二次堆積層と考えられ、段丘面上に盛土をして平地を造成した状況が窺えた。遺物は各トレンチからチャート剥片や土師器、陶磁器片が少量出土したが、遺構は確認されなかった。第3図2は白磁紅皿、第4



図上段は黒色チャートの剥片である。

なお、調査地周辺で過去の農地工事の際に古墳時代初頭頃の土師器が出土したとの聞き取りを得、その際の出土品の提供を受けた。第3図1は土師器の甕で、ほぼ完形品である。こうしたことから、周辺の上位段丘面には遺構が存在する可能性が高く、今後の開発には注意が必要である。

遺跡名	日田条里遺跡	所在地	日田市大字三和
調査原因	国道 212 号道路改良事業	調査期間	平成 30 年 6 月 12 日～8 月 27 日
調査担当	横澤 慎・土谷崇夫	時期	近代以降
遺構	溝	遺物	—

調査地は花月川右岸の沖積平地上である。調査地は複数地点あるが、基本的な層序は表土及び床土下に淡灰色や淡灰褐色等の数層の粘質土層があり、淡黄色土の地山層又は砂礫を含む氾濫層に至る。氾濫層は地表下 0.7～1.0m 程度である。調査地 1 では溝 1 条を検出したが、埋土は近代以降のものであった。各地点とも遺物の出土は確認されない。以上の結果、工事実施に問題ないものと判断される。



遺跡名	三和敷田遺跡	所在地	日田市大字三和
調査原因	国道 212 号道路改良事業	調査期間	平成 30 年 10 月 2 日～平成 31 年 1 月 22 日
調査担当	横澤 慎	時期	—
遺構	—	遺物	—

調査地は花月川右岸の沖積平地上である。調査地は複数地点あるが、基本的な層序は表土及び床土下に黄灰色や灰褐色の数層の粘質土層があり、砂礫を含む氾濫層に至る。氾濫層は地表下 1.1～1.2m である。各調査地点とも遺構は確認されず、遺物の出土も認められない。以上の結果、工事実施に問題ないものと判断される。



2. 試掘調査

遺跡名		所在地	中津市耶馬渓町大字金吉
調査原因	県道平原耶馬渓線道路改良事業	調査期間	平成 30 年 9 月 18 日
調査担当	横澤 慎	時期	—
遺構	—	遺物	土師器、陶磁器

調査地は金占川右岸の河岸段丘上である。

調査地の層序は、第1層：灰褐色土（表土、層厚 20 cm）、第2層：灰黄褐色土（床土、15 cm）、第3層：淡黄灰色土（盛土、45 cm）、第4層：軟質凝灰岩片を含む淡黄白色粘質土（地川）である。2トレンチでは床土下に分厚い埋土があり、約 2.3m 挖り下げたが地山を確認できなかった。調査区から遺構は確認されず、遺物は盛土等から土師器や陶磁器の細片がわずかに出土したが、いずれも他所からの混入であろう。以上の結果、当該工事による埋蔵文化財への影響はないと判断される。



遺跡名		所在地	大分市大字細
調査原因	大分港坂ノ市地区統合補助事業	調査期間	平成 30 年 11 月 7 日
調査担当	横澤 慎・綿貫俊一	時期	近現代
遺構	横穴（防空壕？）	遺物	—

調査地は大分港東部、独立丘陵の樹枝状に延びる尾根の基部である。洞窟状の開口が認められた箇所にトレンチを設定し、その確認を行った。確認された洞窟状の横穴は幅約 5m、高さ約 2.2～2.5m で、大部分は天井が落盤しているが、尾根麓からの推定で奥行は 20m 程度と推定される。

調査地の層序は、第1層：落盤層（2.6m）、第2層：丸太等の木材を含む暗灰色粘質土（10 cm）、第3層：淡黄白色泥岩の基盤層である。横穴の奥壁には無数のノミ痕が認められ、壁面は丸く、床面は平坦に仕上げられている。明らかに人為的な構築物ではあるが、堆積層が極めて薄く、開鑿から短期間のうちに落盤したものと考えられる。木材も加工や腐朽の状態から近現代のものと思われ、横穴の用途は防空壕か、農業資材等を保管する穴倉の可能性が高い。以上の結果から、工事実施に問題ないものと判断した。



遺跡名		所在地	玖珠町大字四日市
調査原因	県道書野田線道路改善事業	調査期間	平成31年1月10日
調査担当	友岡信彦	時期	古墳時代
遺構	横穴墓	遺物	—

調査地は四日市集落北側の丘陵中腹、南向きの斜面から南方向へ延びる緩傾斜をもつ平坦地の先端部分に位置する。

調査地では表土の木根や腐植土を除去すると、約30~50cmで灰色や黄灰色の軟質砂礫層に達する。斜面が部分的に南に張り出す地形であること、地盤層が軟質であること、トレンチより下位斜面堆積層が角礫を含む軟質土壤であることから、当該地は斜面上部からの崩落土が堆積して形成された可能性が高い。以上の所見から、施工範囲に遺構が存在する可能性は低く、当該工事による埋蔵文化財への影響はないとの判断される。ただし、施工箇所周辺には古墳時代の横穴墓4基の開口が確認できるため、今後の開発に際しては注意が必要である。



遺跡名		所在地	杵築市山香町大字野原
調査原因	県道山香院内線道路改良事業	調査期間	平成31年1月23日~1月24日
調査担当	横澤 慎	時期	古墳時代?
遺構	柱穴	遺物	弥生土器、土師器、陶磁器

調査地は立石川右岸の河岸段丘及び段丘下の沖積地上である。沖積地部分では表土及び床土を除去すると灰黄褐色や灰褐色の堆積層が認められ、砂礫混りの氾濫層に達する。氾濫層は地表から1.0~1.2m下である。一部では流路状の堆積層が認められることから、当該地は旧河川の氾濫原であると判断される。一方、段丘上では表土下60~70cmで黄褐色ローム質土の地山に達する。一部トレンチでは地山上で直径約30cmの柱穴1基を確認し、その埋土から古墳時代頃と思われる土師器片が出土した。また、トレンチからは弥生土器、陶磁器等が出土した。以上の結果、遺構を確認した段丘上の一部範囲については、平成31年度に本調査を実施する予定である。



遺跡名		所在地	由布市庄内町大龍
調査原因	県道庄内久住線道路改良事業	調査期間	平成 31 年 2 月 4 日
調査担当	横澤 慎	時期	—
遺構	—	遺物	弥生土器、瓦質土器、陶磁器、黒曜石

調査地は大分川右岸の河岸段丘上である。調査地の基本的な層序は、第1層：灰色土（耕作土、層厚 20 cm）、第2層：床土（15 cm）、第3層：暗褐色土（25～40 cm）、第4層：褐色土（25～40 cm）、第5層：黄褐色ローム質土（地山）である。1 トレンチでは床土下で淡黄褐色砂礫の地山層が確認でき、全体に削平を受けている状況が窺えた。調査地から遺構は確認できず、遺物は弥生土器、瓦質土器、陶磁器、黒曜石剥片が少量出土したが、いずれも耕作土やトレンチ上位からの出土で本来の位置を保つものではない。以上の結果、工事着工に問題ないものと判断した。



3. 立会調査

遺跡名		所在地	津久見市井無田町
調査原因	井無田川災害関連緊急砂防事業	調査期間	平成 30 年 4 月 25 日
調査担当	横澤 慎	時期	—
遺構	—	遺物	—

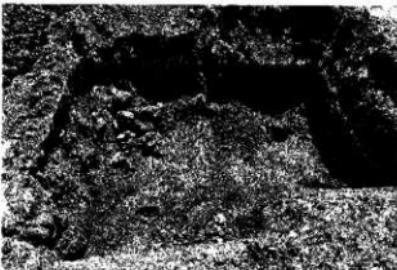
調査地は津久見市街地南方丘陵の北麓緩斜面上で、寺院跡と伝わる場所である。

調査地の層序は、第1層：耕作土（20～30 cm）、第2層：多量の角礫を含む淡黄色土（地山岩盤の再堆積層、50～80 cm）、第3層：角礫層（地山岩盤層）である。調査地から遺構は確認されず、遺物も出土しなかった。以上の結果から工事着工に問題ないものと判断したが、周辺が寺院伝承地であり、寺院関連の小字も認められることから、今後の開発に際しては注意が必要である。



遺跡名	宇佐地区条里跡	所在地	宇佐市大字江須賀
調査原因	県道宇佐本耶馬渓線道路改良事業	調査期間	平成30年5月22日・10月26日
調査担当	横澤 慎・土谷崇夫	時期	近代以降
遺構	溝、ピット、水田状落込み	遺物	土師器、磁器

調査地の基本層序は第1層：盛土（30～60cm）、第2層：灰黄褐色土（30cm）、第3層：淡褐色砂質土（20～30cm）、第4層：淡灰褐色砂質土（30cm）、第5層：淡黃灰色砂質土（10～20cm）、第6層：淡灰黄色砂質土（10cm）、第7層：暗褐色砂質土（70cm）、第8層：明褐色砂質土（河川作用の自然堆積層）である。調査地の一部で耕作溝やピット、水田状の落込みを検出したが、埋土となる第4層から幕末頃の染付磁器と共にガラスが出土しており、これら遺構は近代以降のものである。また、中世の遺物がいくらか出土したが、当該期の遺構は確認されなかった。第3図3は弥生土器壺、4



は土師器壺、5は第4層出土の染付磁器端反範である。以上の結果、当該工事の実施については問題ないと判断した。

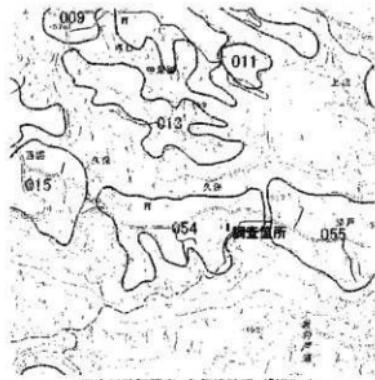
遺跡名	臼杵城下町跡	所在地	
調査原因	（都）紙園洲柳原線街路改良事業	調査期間	平成30年7月27日～12月5日
調査担当	横澤 慎	時期	近世
遺構	土坑・溝・ピット	遺物	土師器・陶磁器・瓦・鉄製品等

調査地は臼杵城跡の南、月桂寺の旧山門跡及び紙園洲柳原線現道部分で、月桂寺山門跡については平成28年度に隣接地の本調査を実施し近世城下町に関わる遺構・遺物を確認している。

月桂寺山門跡の層序は第1層：黄褐色土混じりの盛土（40cm）、第2層：炭や焼土を含む灰褐色砂質土（60cm）、第3層：淡褐色砂（地山）である。遺構は溝状遺構1、土坑4、柱穴6を検出した。数基の遺構から土師器や白磁の細片、鉄釘が出土したが、出土量は少なく遺構の詳細な帰属時期は不明である。また、遺構の規模や出土遺物は周辺の本調査で確認されたものと同様で、明確に月桂寺山門と関連付けるものはない。他に盛土からは中世～近世の陶磁器や瓦、土師器等が出土した。これらの遺構は実測図及び写真による記録作成の上、工事着工とした。



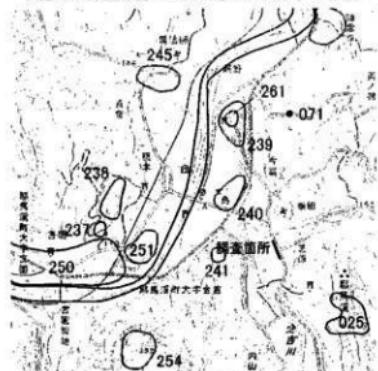
また、現道部分では数点の遺物が出土したが、大部分が埋設物の攪乱を受けており、遺構は確認されなかった。



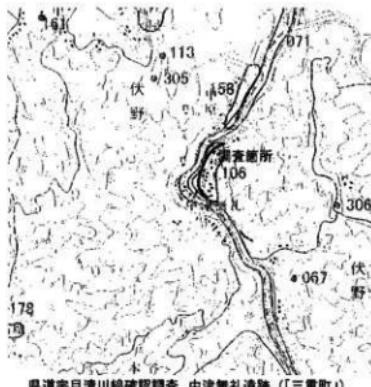
五条川確認調査 久保遺跡群（「桜町」）



国道212号確認調査 日田条里遺跡（「大行司・日田」）



県道平原郡馬渓線試掘調査（「耶馬渓西部」）



県道平目清川線確認調査 中津無礼遺跡（「三重町」）

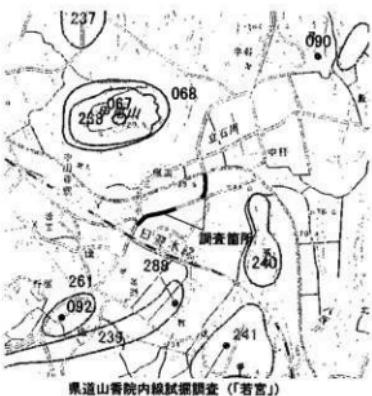
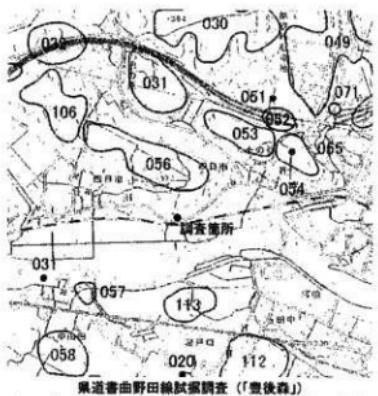


国道212号確認調査 三和敷田遺跡（「大行司」）

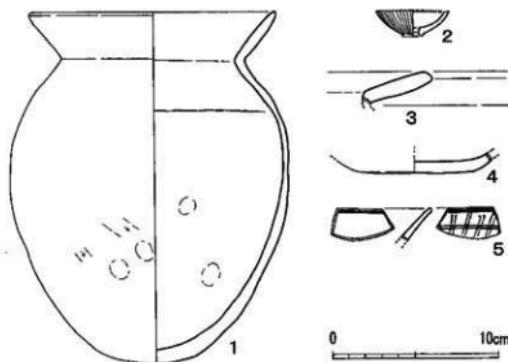


大分港坂ノ市地区試掘調査（「坂ノ市」）

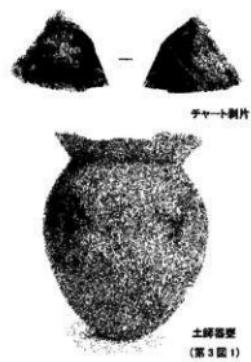
第1図 大分県内遺跡発掘調査（確認調査）実施箇所（大分県遺跡地図掲載1/25,000地形図に加筆）



第2図 大分県内遺跡発掘調査（確認調査）実施箇所（大分県遺跡地図掲載1/25,000地形図に加筆）



第3図 平成30年度県内遺跡発掘調査出土遺物実測図



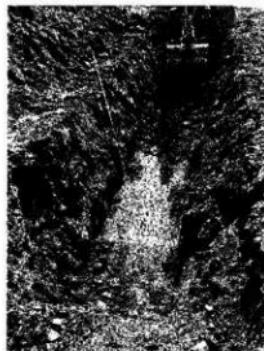
第4図 県内遺跡発掘調査出土遺物

(2) 国・その他事業に伴う試掘確認・立会調査概要

確認調査

遺跡名	賀来条里跡	所在地	大分市大字東院地先
調査原因	賀来川東院地区築堤護岸外工事	調査期間	平成30年10月9日
調査担当	綿貴俊一	時期	—
遺構	—	遺物	—

調査地は、賀来川右岸の低い河岸段丘上に立地している。ここは平成29年度に本調査を行った地点の隣接地である。調査地は地表面から深さ0.30m～0.50mまで整地に伴う埋土層が広がり、その下をさらに1.40mまで重機で掘り下げたところ、0.30mの大河川縫からなる疊層が堆積していた。調査地から遺構・遺物とともに確認されなかった。以上の結果、遺跡の広がりが確認されないことから、工事着工に問題ないものと判断した。



試掘調査

遺跡名		所在地	佐伯市中村西町3番15号
調査原因	佐伯税務署建築工事	調査期間	平成30年9月20・21日
調査担当	綿貫俊一	時期	—
遺構	—	遺物	—

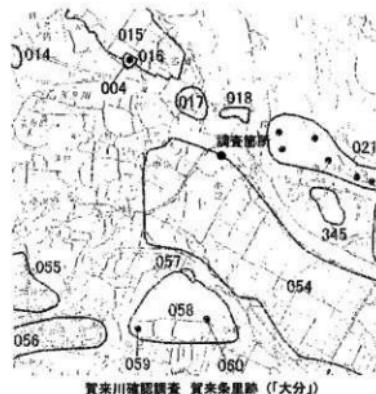
調査地は、佐伯税務署の敷地で、佐伯城下町跡の範囲外ではあるが、外郭の土塁に近接する場所である。事業地に1箇所のトレンチを設定し、重機で地表下1mまで掘り下げた。その結果、昭和初期からの磁器片・ビニール瓶破片・ガラス破片・コンクリート片などの廃棄物や死貝を含む砂質土の整地層を確認した。当該地は江戸時代の絵図によれば水田地帯となっており、試掘調査結果もそれと矛盾するものではない。以上の結果、工事着工に問題ないと判断した。



遺跡名		所在地	別府市大字鶴見字鶴見原4546番地
調査原因	九州大学病院別府病院再開発(仮称)	調査期間	平成31年2月13日
調査担当	綿貫俊一	時期	—
遺構	—	遺物	—

調査地は鶴見岳東麓の緩斜面上で、九州大学別府病院の敷地内である。別府病院前の庭園・駐車場・空地などの敷地に6箇所のトレンチを設定し、重機で掘り下げ遺構・遺物の確認を行った。その結果、調査地は昭和6年頃の病院敷地の造成にかかる整地土・埋土が2~5m以上の厚さで堆積していた。整地土の上位で病院開設時に利用された昭和初期の病院什物がみつかったが、建物の基礎は破壊されていた。その他、遺構・遺物は検出されなかった。以上の結果、工事着工に問題ないと判断した。





賀来川確認調査 賀来条里跡（「大分」）



佐伯税務署試掘調査（「佐伯」）



九州大学別府病院試掘調査（「別府西部」）

第5図 県内遺跡発掘調査（国・その他事業）調査地点（大分県遺跡地図掲載1/25,000地形図に加筆）

(3) 平成 29 年度県内遺跡発掘調査概要

ここでは平成 29 年度実施調査のうち、概報作成後に実施した調査の一部を補遺として掲載する。

1. 確認調査

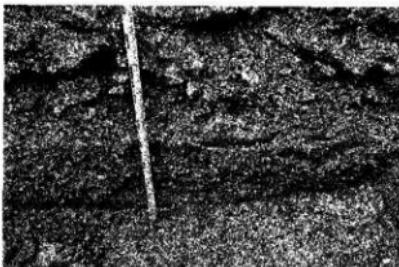
遺跡名	大波羅遺跡	所在地	日田市上城内町
調査原因	県道日田玖珠線交通安全事業	調査期間	平成 30 年 3 月 16 日
調査担当	横澤 慎	時期	—
遺構	—	遺物	陶磁器

調査地は日田盆地東麓の沖積平野上で、大波羅遺跡の北端部にあたる。調査地の層序は、第 1 層：灰褐色土の擾乱層 (30 cm)、第 2 層：淡褐色土 (30 cm)、第 3 層：褐色土 (15 cm)、第 4 層：灰黃褐色土 (20 cm)、第 5 層：軽石を多く含む硬質の暗褐色土（地山、15 cm）、第 6 層：硬質の淡灰褐色粘質土（地山）である。第 1・2 層から近世以降の陶磁器片がわずかに出土したが、遺構は確認されなかった。以上の結果、工事着工に問題ないものと判断した。



遺跡名	志手町遺跡	所在地	津久見市志手町
調査原因	国道 217 号道路改良事業	調査期間	平成 30 年 3 月 22 日～3 月 23 日
調査担当	横澤 慎	時期	—
遺構	—	遺物	東播系須恵器

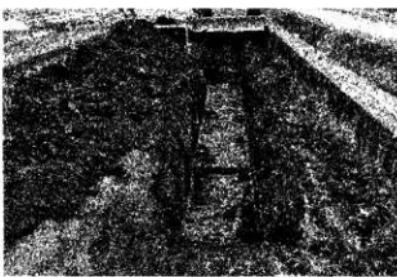
調査地は青江川の河口近く、河川左岸の沖積平地上である。調査地の層序は、第 1 層：多量の碎石を含む盛土 (3.0~3.5 m 以上)、第 2 層：暗灰色土 (20~30 cm)、第 3 層：褐色土 (20 cm)、第 4 層：褐色土 (10 cm)、第 5 層：淡褐色土である。青江川の河口に近い調査地の東側では次第に湿地状の堆積状況を示す。平成 29 年度の立会調査で遺構を検出した褐色疊層は西側に部分的に認められるだけで、遺構の広がりは確認できない。遺物も中世須恵器甕の細片が 1 点出土しただけである。以上のことから、工事実施に問題ないものと判断した。なお、上記の遺構を確認した範囲の本調査は平成 30 年 4~5 月に実施している。



2. 立会調査

遺跡名		所在地	豊後大野市大飼町大寒
調査原因	大野川発電所リニューアル事業	調査期間	平成 30 年 2 月 13 日
調査担当	横澤 恵	時期	近世
遺構	一	遺物	陶磁器

調査地は大野川の蛇行点に突き出す台地上の平坦地である。調査地の基本的な層序は、第 1 層：表土（40 cm）、第 2 層：暗褐色粘質土（15 cm）；第 3 層：黄色ローム（地山）、第 4 層：暗褐色ローム（地山）である。所々で攪乱を受けており、第 3 層の黄色ロームが削平により失われている状況が確認された。そのため遺構は確認されず、遺物は近世～近代陶磁器が出土したが、中世以前のものは認められない。第 7 図は出土した陶磁器類で、1 は陶器の皿、2 は陶胎染付碗、3 は染付磁器碗である。以上の結果、工事実施に問題ないものと判断した。

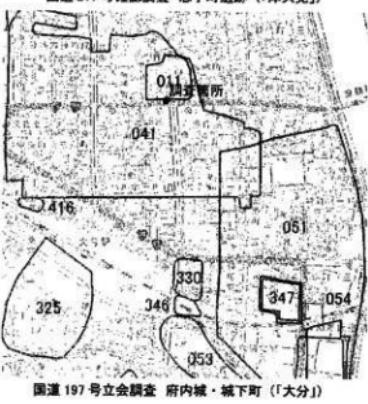
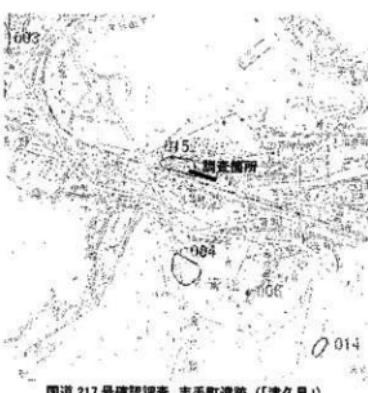


遺跡名	府内城・城下町	所在地	大分市荷揚町
調査原因	国道 197 号道路改良事業	調査期間	平成 30 年 3 月 13 日
調査担当	横澤 恵	時期	近世末期
遺構	石列	遺物	陶磁器、瓦

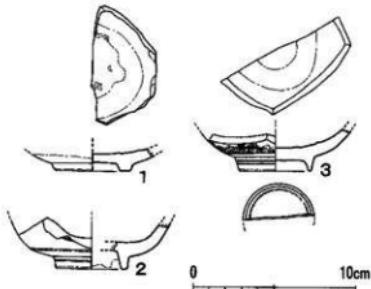
調査地は府内城堀端の国道歩道上である。歩道上のクロマツ移植に伴い、その根回し作業時に立会調査を実施した。

調査では現在の堀のラインとなる石垣の天端石と、平成 29 年 4 月 26 日の立会調査で確認した石列を再度検出した。石列は 1 段しか見られないが、堀側に面を備えている。この石列と堀側石垣の間から多量の瓦が出土しており、石垣の裏込めに使用されたのであろう。石列の詳細な時期は不明だが、近世のある時点での石垣の痕跡とも考えられ、それを埋めて平場を拡張した可能性が考えられる。遺物に残瓦や磁器焼反碗を含むことから、埋没は幕末～明治初年と推定される。なお、確認された遺構は実測図及び写真による記録作成を行った。

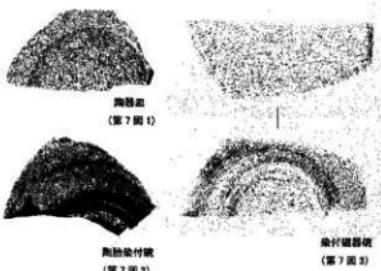




第6図 平成29年度県内遺跡発掘調査実施箇所（大分県遺跡地図掲載1/25,000地形図に加筆）



第7図 平成29年度県内遺跡発掘調査出土遺物実測図



第8図 県内遺跡発掘調査出土遺物

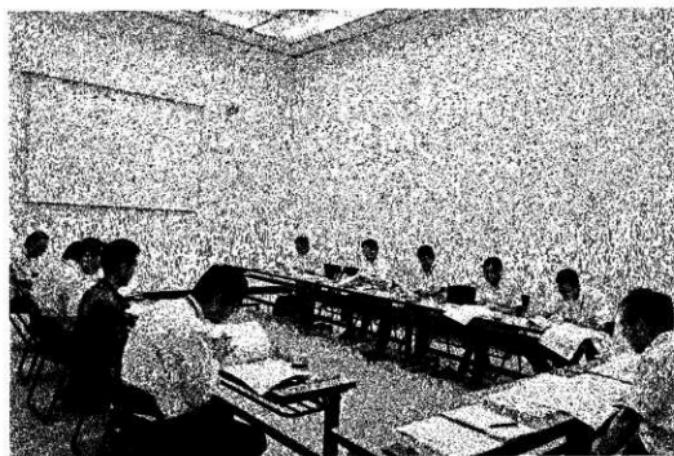
VI 近世重要遺跡詳細分布調査

大分県は旧国の豊後と豊前南部からなり、豊後は鎌倉時代以来大友氏が守護として支配してきたが、文禄2年（1593）に大友義統が改易されて以降、近世には一国全体を統治する大名が現れず、大分県は「八藩七領」（中津、杵築、府内、臼杵、佐伯、岡、日出、森の各藩と7つの分知領—肥後、延岡、島原各藩の飛地、立石（日出分藩）、時枝（旗本領）、宇佐神宮領、幕府直轄地（天領））と呼ばれる小藩分立の状態となった。この小藩分立により、県内各地で様々な産業や文化が生み出されることとなつた。

このように近世という時代は現在の大分県に大きな影響を与えていたが、埋蔵文化財については近世城郭やその城下町、陶磁器窯等の一部の産業遺跡は周知の埋蔵文化財包蔵地として保護の対象になっているものの、一般的な集落遺跡については十分な保護措置が図られていないのが現状である。そこで、近世集落を対象に、屋敷や寺院、墓地等、集落を構成する要素について現地調査を実施し遺跡の現状を把握するとともに、保護に関する統一的な基準を作成し、その保護を図ることを目的に、平成29年度から調査に着手している。

平成30年度は県北部地域（中津市・宇佐市・豊後高田市）を対象として調査を実施した。調査方針として、まず大日本帝国陸軍作成の迅速測図（縮尺5万分の1）に記載された集落を抽出し、集落ごとに構成要素である庄屋屋敷や寺社、墓地、道、文教施設、産業施設、伝承地等の情報を市町村史や地名辞典類等から収集し、一覧表として整理した。この表を基本として、まず埋蔵文化財包蔵地として既に周知されている集落は除外し、それ以外で構成要素の情報がある程度得られる集落を対象に現地調査を行い、特に庄屋屋敷や寺社、墓地、道、産業施設等の要素を中心に現地確認を行い、近世遺跡の残り具合や集落範囲についての推定を行った。また、関係市町村教育委員会とともに協議の上、当該地域で特に重要とされる地域については埋蔵文化財センターと当該市町村と共に現地調査を行った。特筆できる成果として、宇佐市高村地区は近世に「高村焼」と呼ばれる素焼きの日常雑器生産を行っていた集落として知られるが、その生産と信仰に関する遺構を新たに確認することができた。

平成30年8月29日～8月30日にかけては調査委員会を開催し、学識経験者から調査方針や調査方法について指導を受けた。



調査委員会開催状況（県立埋蔵文化財センター）

報告書抄録

ふりがな	おおいたけんないいせきはつくつちょうきがいほう							
書名	大分県内遺跡発掘調査概報							
副書名								
巻次	22							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	横澤 慎(編集)、友岡信彦、綿貫俊一、土谷崇夫							
編集機関	大分県立埋蔵文化財センター							
所在地	〒870-0152 大分市牧野町1番61号			TEL 097-552-0077				
発行年月日	西暦 2019年 3月 29日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯 ○・°・'	東経 ○・°・'	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
要約	本書は平成30年度国庫補助事業として実施した大分県内遺跡発掘調査の概要報告である。 調査は平成31年度大分県農林水産部実施事業に伴う分布調査、平成31年度大分県土木建築部実施事業に伴う分布調査、平成30年度大分県実施事業に係る試掘確認・立会調査、及び国・その他機関が実施する平成30年度実施事業に伴う試掘確認・立会調査等である。また、開発事業に伴う遺跡詳細分布調査として、中津市・宇佐市・豊後高田市を対象に、近世重要遺跡詳細分布調査を実施した。							

大分県内遺跡発掘調査概報 22

発行年月日 平成31年3月29日

編 集 大分県立埋蔵文化財センター

所 在 地 〒870-0152 大分市牧緑町1番61号

TEL 097-552-0077

印 刷 外堀印刷有限会社

〒870-0025 大分市順徳町1-10-21

TEL 097-536-2666
